

旧石器時代の遺跡に学ぶ

のじりこ 野尻湖遺跡群（信濃町） 約3万年前

日向林B遺跡から出土した
斧形石器は世界最古級の
磨製石器といわれている
（重要文化財）



あげや 上ヶ屋遺跡（長野市） 約2.5万年前

飯綱高原で
北陸・関東・近畿地方の
特徴ある石器が見つかる！



やなぎまた 柳又遺跡 （木曾町） 約1.6万年前

開田高原で、大きさもかたちも
縄文時代の矢じりとよく似た
旧石器時代の終わりの石器が発見された



みこしほ 神子柴遺跡 （南箕輪村） 約1.6万年前

20cmを超える
大きくみごとな石槍は
旧石器時代の芸術品とも
いわれる（重要文化財）

たけさなかはら 竹佐中原遺跡（飯田市） 約3～5万年前

長野県最古級の遺跡では
川原石をあらく
打ち割ったままの
石器が見つかった



ちゃうすやま 茶臼山遺跡（諏訪市） 約3万年前

長野県で最初に
発見された
旧石器時代の遺跡



長野県内には旧石器時代の遺跡が
結構たくさんあるんじゃ！



※石器等の縮尺は任意

しももうち 下茂内遺跡（佐久市） 約1.9万年前

硬い安山岩の原産地遺跡
たくさんの石槍が
ここで作られた



おめくら たかやま 男女倉・鷹山遺跡群（長和町） 約2.5万年前

旧石器時代から
縄文時代まで続く
黒曜石の原産地遺跡

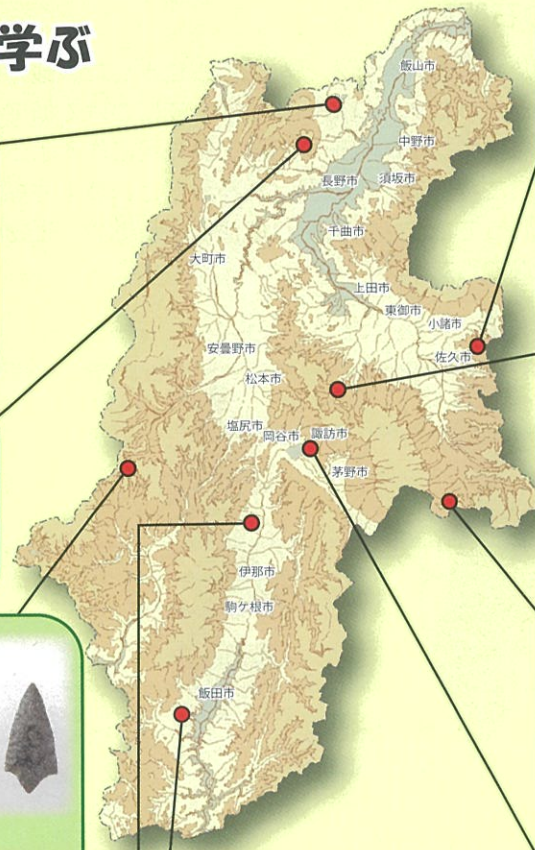


やでかわ 矢出川遺跡群（南牧村） 約1.6万年前

日本で初めて
細石器を確認した
野辺山の大遺跡



撮影：吉野俊幸氏



HORU
SHIN

かがみちゃんと学ぼう

ジュニアこうこがく

かがみちゃん

第8号

令和2年（2020年）2月23日発行

いつから人は信州に住んでいたの？

今のところ、その歴史は3～5万年くらい前にさかのぼります。
 土器を使いはじめた縄文時代より前の時代で、
 旧石器時代（または「先土器時代」）と呼んでいます。
 この時代は、季節のうつりかわり、動物たちの移動とともに
 住む場所を変えて、キャンプ生活をしていました。



どんな時代？

日本最古級！

飯田市で大発見！！



いだしなけさなかはらいせき
飯田市竹佐中原遺跡出土

およそ3～5万年前とみられる
石器が発見されました。
信州最古の遺跡は、日本列島の
人類の登場を考える上でも、
重要な発見になりました。



とがった先を使っているよ！

調べよう 旧石器時代の展示品がある博物館

野尻湖ナウマンゾウ博物館（信濃町） ☎026-258-2090	長和町黒曜石体験ミュージアム ☎0268-41-8050	開田考古博物館（木曾町） ☎0264-44-2007	飯田市上郷考古博物館 ☎0265-53-3755
諏訪市博物館 ☎0266-52-7080	伊那市創造館 ☎0265-72-6220	佐久市教育委員会考古遺物展示室 ☎0267-63-5321	長野県立歴史館（千曲市） ☎026-274-2000

写真提供：淡路縄文ミュージアム 飯田市上郷考古博物館 飯田市教育委員会 伊那市教育委員会 伊那市創造館 木曾町教育委員会 開田考古博物館 上伊那考古学会 佐久市教育委員会 諏訪市博物館 諏訪市教育委員会 長野県立歴史館 長野市教育委員会 長和町黒曜石体験ミュージアム 野尻湖ナウマンゾウ博物館
 ※この冊子は、令和元年度地域の特色ある埋蔵文化財活用事業で作成しました。

（一財）長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター
 〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4
 TEL 026-293-5926 FAX 026-293-8157

埋文HPへGo!



小さな石のひとつひとつが
どんな状態で出てきたのか、
慎重に発掘調査を進めます。

石器づくりの跡を発掘
長和町追分遺跡
2.6万年前



※黒曜石の漢字表記について
この誌面では、表記は「黒曜石」に統一しました。
例外として、長和町黒曜石体験ミュージアムのみ
「礫」を使用しています。

http://naganomaijun.or.jp/

かんきよう
旧石器時代の環境



霧ヶ峰高原



ひようがき
氷河期だった旧石器時代

今よりも気温が低かったので、森林は少なく、霧ヶ峰の草原のような景色だったと思われます。

ふんか
火山の噴火

今よりも火山活動が盛んでした。火山の噴火の様子を見ながら生活していたかもしれません。



あさまやま ふんか
浅間山の噴火

こくようせき
狩りの道具と黒曜石の石器

旧石器人は、生きていくために道具をどんどん進化させました。最初は薄いカケラの鋭い刃を特徴とする台形石器を、次に先端のとがったナイフ形石器を柄の先につけて槍にしました。さらに、槍先形尖頭器と呼ばれるナイフ形石器より丈夫な木の葉形の石器を槍先用に作るようになりました。そして旧石器時代の終わりごろには、細石器（細石刃）という小さな薄いカケラを組み合わせて槍を作る技術がアジア大陸から伝わってきました。狩りに使った石槍や、獲物の肉を切ったナイフには、鋭い先端や切れ味を持つ黒曜石が最適でした。

いろいろな黒曜石の石器



たいけいせつき
台形石器
(日向林B遺跡出土)
長さ 4.5 cm
約 3 万年前

ナイフ形石器
(裏ノ山遺跡出土)
長さ 8.4 cm
約 2.5 万年前

やりさきがたせんとうき
槍先形尖頭器
(貫ノ木遺跡出土)
長さ 8.1 cm
約 2 万年前

さいせつき さいせきじん
細石器（細石刃）
(矢出川遺跡群出土)
左上長さ 2.2 cm
約 1.6 万年前

やり
槍を使った時代だよ！

旧石器人は何を食べたの？

えもの
旧石器人が食べた狩りの獲物とナッツ類

現在は、ナウマンゾウ、オオツノジカ、ヤギユウは絶滅しており、ヒグマも北海道にしかいません。絶滅の理由のひとつは、ヒトによる狩猟が考えられています。



成人男性
身長約 1.5 ~ 1.6m



ノウサギ
体長約 50 cm



ニホンジカ
体長約 1 ~ 1.8m

旧石器人は、もちろん肉ばかりを食べていたわけではありません。寒い気候でも育っていたナッツ類も食料としていました。



チョウセンゴヨウ



ツノハシバミ



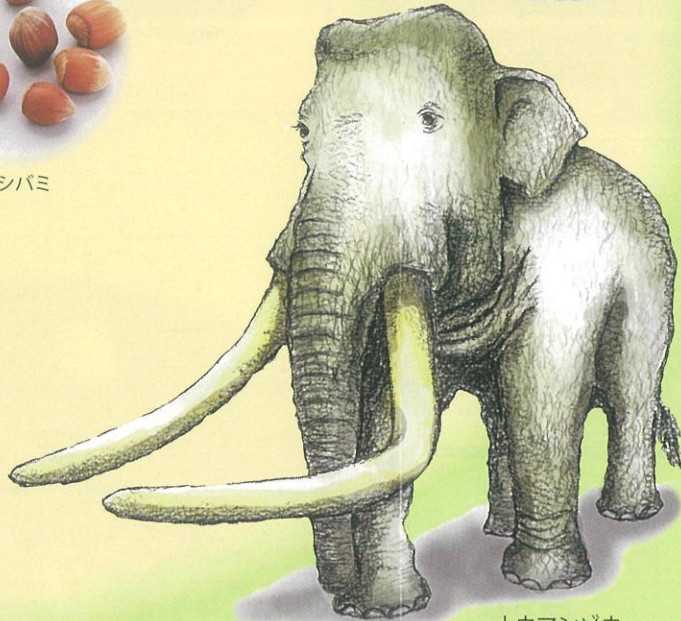
ハシバミ



ヒグマ
体長約 2 ~ 3m



オオツノジカ
体長約 3m



ナウマンゾウ
高さ約 2.5 ~ 3m



ヤギユウ
体長約 2.5 ~ 3m

と
獲った動物の毛皮は
服に利用します！

細石刃をつけた復元資料

小さなカミソリのような石器で、壊れた部分だけ交換すればいい、画期的な道具です

槍の先につけて使います！

本州最大の黒曜石の産地

火山が噴火して、マグマが急に冷やされて固まると黒曜石ができます。ガラス質の黒曜石は、割れ口がとても鋭いので、生活に欠かせない石器の多くが黒曜石で作られました。霧ヶ峰から八ヶ岳の一带は、特に良質な黒曜石の産地として有名です。旧石器人は川に流れ出た黒曜石を採取し、その場で加工しました。それらの石器は野尻湖や遠く関東平野まで持ち運ばれました。

